



おたふくかぜ、水ぼうそう、B型肝炎予防ワクチンの定期接種と助成を求める

公明党 岡崎 悟 議員

議員 6月議会で、小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がんワクチンの公費助成と定期接種を求めました。今議会では、おたふくかぜ、水ぼうそう、B型肝炎ワクチンの予防接種の拡充を求めます。考えを尋ねます。

福祉部長 おたふくかぜ、水ぼうそうワクチンは、23年度から就学前のお子さんを対象に、村独自の費用助成で実施したいと考えます。具体的な助成方法や助成額等については、現在検討を進めています。また、B型肝炎ワクチンは、国が定

期接種と位置付けて、全国的に実施すべきものと考えています。

議員 6月議会の質問で実施の方向性が示された、小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がんワクチンの具体的な実施計画を尋ねます。

福祉部長 子宮頸がんワクチンについては、22年度から前倒しで、中学3年の女子を対象に、全額公費負担で実施します。23年度は、子宮頸がんに加え、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンについて、費用助成の実施を予定しています。これらの助成は、国の補助金の活用

を考えていることから、対象年齢や助成額等の詳細については、現在検討しています。

議員 ヒブ、小児用肺炎球菌、おたふくかぜ、水ぼうそうワクチンについても全額公費助成を求め、要望とします。加えて、これらのワクチンの助成について、全額助成をする考えはないのか、尋ねます。

福祉部長 全額公費負担を含めて、考えています。

議員 東海第2原発の耐震安全性評価報告書に対する国の評価結果は、どのような内容であり、原子力対策課としてその評価をどう思つか。

経済環境部長 9月30日に国から（日本原電の評価は）「妥当である」旨の通知を受けた。村も原電より報告を受けた。津波に対する安全評価等最終報告書はとりまとめ次第国に提出される。

議員 基準地震動とは「施設に大きな影響を与えるおそれがある」の内容は①敷地周辺の調査結果として基準地震動600ガルは妥当②基準地震動による建物・機器の耐震安全性

8



東海第2原発は地震には大丈夫か

無会派 相沢 一正 議員

評価妥当。村としては国評価については、「真摯に受け止めることが大事」と考えている。原電は地域住民への耐震の理解活動を行った上で事業を進めていく。

議員 部長として村の原子力安全懇談会に参加して得るものはあるのか。尋ねたか。

経済環境部長 専門分野に精通した方が固定周期の問題、シユラウドサポートの問題、最大加速度とか質疑応答されて私には理解できない部分もあった。安全部門を事業主さんはしっかりとやっていたのだと思います。

議員 「施設に大きな影響を与えるおそれがある」の380ガルが600ガルになつたことについてなぜそうなつたかの、間違った過程を日本原電は検証して反省の意思を表明すべきだ。